

子どもの何気ないつぶやき

今年の夏も、痛ましい事件が起きた。中学生を含む4〜5人のグループが16歳の少年に暴行を加え、河川に放置して逃げた。「メールや電話をしても、無視をしたから・・・」と言う。

たわいもない理由で人の命を奪ってしまふ、このような事件があとをたたない。他人ごとではない。この小さな村、小規模で落ち着いている学校でも、いつ起きるか分からない状況下にあることを学校・家庭・地域が再認識する必要がある。9月に行われた校長会で、「情報は自ら取りに行く！校内巡視を日々行

えば、子どもたちから情報は入って来るものだ。情報は座って待つものではなく、自ら取りに行かねばならない。忙しい時にこそ問題が起こりやすい。教職員

の意志統一を一層お願いしたい。」と話した。

以前読んだ「世界通信教育情報埼玉版」の一部を紹介する。

「子どもがどんなに悩み、真剣にSOSのサインをだしても、それを受け止める先生や親、大人たちのアンテナが、子どもに正対していなかったり、感度が鈍っていたら事態は深刻である。

先生には、子どもの何気ないつぶやき、声の強弱、ちよつとした眼の動き、表情等から、子どもの訴えや悩み、SOSを敏感にキャッチする心のアンテナを高く掲げて欲しいものだ。」

これを読んで、まさにその通りであると痛感した。教師と生徒の

日々の信頼関係の大切さ。ご家庭でも子どものちよつとした変化を見逃さないで欲しい。

今こそ、学校・家庭・地域が「やるべきこと」をお互いが再確認し、3者が連携しあう必要があるのではないだろうか。

教育長 根岸 敏夫

☆いきいき男女☆

応援プロジェクト!



大字御堂在住
ふくしま えみ
福島 絵美さん
(年齢 36歳)

※顔はご本人の希望により、似顔絵になっています。

【あなたの日常は?】

主人と一緒に、村内で喫茶店を経営しています。土日祝日は仕事なので、子どもたちとの時間がとりづらいますが、主人と家事を分担しながら、一緒に過ごす時間を持つようにしています。

【今後の男女共同参画社会に望むことは?】

この男女共同参画も含め、さまざまな取り組みが周知されると、女性の社会復帰にもつながると思います。支援内容や活用している方の話を見聞きする場が身近に増えることを望みます。

*男女共同参画担当から一言

絵美さんの男女共同参画に寄せるご意見、大変参考になります。働く女性やイクメンパパが自分の体験談などを気軽に話せるスペース、「カフェ企画」などが楽しいかもしれませんね。

他方面からも意見をつのり、支援を強化できるよう、考えていきます。



東秩父を全力応援!

地域おこし協力隊通信



先日、東京都美術館で開催された第50回記念創展での細川紙ちぎりアート展示を見学してきました! 実際に見に行かれた方からは、村の美しい景観は来場者の目を引き、興味深く眺めている方が多かったと感想をいただきました。

来場者は例年より多く8日間で約4,000人が訪れ、特別作品のちぎり絵と新設した紙絵部門は多くの反響があったようです。事務局長の嶋田さん(御堂出身)は和紙が文化遺産になったことを多くの方に知ってもらえたら嬉しいと話されていました。

紙絵部門の作品からは、質感や雰囲気まで感じ取れるような表現や、和紙の多様な楽しみ方・使い方を知ることができました。

「私も貼ったよ!」「嬉しい!感動して鳥肌が立ちました!」など反響をいただき、小さな一歩を積み重ねていくことの大切さと、みんなで生み出す楽しさを多くの方と共有できたと感じます。応援・ご協力ありがとうございました。



▲細川紙ちぎりアートの展示風景
: 周囲は紙絵部門の作品